

毛利家のお正月

未来は不確かであるが故に、人々は人生や季節の節目を祝い、行く末の幸せを願います。江戸時代の大家家においてもそれは同じことでした。各大家家では、藩と家の繁栄と永続とを願い、祖先の功績を佳例として称え、季節ごとに祝いの行事を行いました。そこでは、由緒や縁起を担ぐ品々が行事を盛り上げていました。今回毛利博物館では、毛利家の「正月飾り」をはじめ、毛利家の各種行事を華やかに盛り上げた由緒ある品々や、縁起のよいとされる意匠が描かれた絵画や工芸品を展示し、福を招くことに対する先人の思いを紹介したいと思います。

主な展示

(●は山口県指定有形文化財)

正月飾り

●御佳例吉甲冑

毛利元就所用とされる甲冑。

●御重代太刀(平安時代)

同 拵 (江戸時代)

初代萩藩主毛利秀就が朝廷から与えられた太刀とその拵。

●日の丸軍扇 (室町時代)

毛利元就が戦場で用いたという扇。表は日の丸、裏は銀三日月。



さんばそうず (左) 三番叟図 土佐光成筆(江戸時代)

三番叟は天下太平を願う舞。

まつつるまきえはいだい (右上) 松鶴蒔絵盃台・三つ組盃

(江戸時代)

松・鶴はともに長寿を象徴する縁起の良い絵。祝宴用の盃と盃台。

ししまいず (右下) 獅子舞図 大庭学僊筆(江戸時代)

正月の代表的な風物詩であった獅子舞は、福を招く舞とされる。本図は伊勢神宮の使、伊勢太神楽を描く。



企画展「毛利家のお正月」のあとは
企画展「毛利家の雛まつり」
令和7年2月7日(金)～
令和7年4月7日(月)
(会期中無休)

会 期： 令和6年12月6日(金)
～令和7年1月20日(月)

12月22日～31日は休館

庭園は無休

開館時間：午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

入館料

(展覧会は博物館もしくは共通券が必要)

(博物館) 大人900円・小中学生250円

(庭園) 大人500円・小中学生250円

(共通券) 大人1200円・小中学生250円

団体(大人のみ20名以上)は各10%引

毛利博物館

〒747-0023 山口県防府市多々良1-15-1
TEL 0835-22-0001/FAX 0835-24-2039
URL <https://www.c-able.ne.jp/~mourim/>

